

請 願 文 書 表

受理番号	5-1	受理年月日	5.2.13	付託委員会	総務常任委員会
請願者の住所及び氏名	城陽市富野乾垣内 20-29 城陽の安全でおいしい地下水を守る会 共同代表 滝澤 松代 佐藤 典美 能塚 耐子			紹介議員	西 良倫
件 名	市民の声をいかして地下水利用を守ることにする請願				
要 旨	多くの市民の願いを受け止め、市民が安全でおいしい地下水を飲み続けられるよう行政も議会も力を合わせて取り組まれるよう求めます。				

## 1. 請願の趣旨

多くの市民の願いを受け止め、市民が安全でおいしい地下水を飲み続けられるよう行政も議会も力を合わせて取り組まれるよう求めます。

## 2. 請願の理由

城陽には、地下 200m に及ぶ城陽レキ層(砂や小石の層)が存在しており、天然の「ろ過装置」となって、良質の地下水を豊かに蓄えています。

城陽市水道事業ビジョン(2018年11月発表)の中でも「自然ろ過施設は環境にやさしい施設となっています。自然ろ過施設の稼働率を上げ、効率的な運用を図ります。」として、地下水源の利用を高く位置付けています。また、「広報じょうよう」でも城陽市の地下水がいかに素晴らしい資源であるか特集を組んで市民にアピールしてきました。

ところが、現在すすめられている京都府の水道広域化プランの案では、城陽市内の浄水場を廃止して、地下水の利用をなくしていく内容が含まれています。京都府の都合で、市民の大切な宝であり「城陽特産」ともいふべき豊富な地下水の利用を放棄してはいけなないと考えます。

私たちが、現在取り組んでいる「地下水利用を守る署名」は 3,000 名を超えて共感の輪が広がっています。

また、地域の会が行政に要請して開催した水道事業の出前講座に参加した市民の方から「城陽の水道の地下水利用の意義がよく分かった。」「水道の職員さんも地下水を利用した水道事業に誇りと自信をもっていると感じた。」「災害が多発するなかで水道の多水源は大切だと理解できた。」などの感想が出されています。

私たちは、地下水利用をストップして府営水 100%を押し付けようとする京都府の圧力に対して、行政、市議会、市民が協力して城陽市の水道事業における地下水利用を守り通すことを切に望むものです。